

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	ガイダンス論		
英文授業科目名	Education Guidance		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	大野 久		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
onohisa@rikkyo.ac.jp	http://univdb.rikkyo.ac.jp/view?l=ja&u=296&i=j4&sm=name&sl=ja&sp=2

【主題および達成目標】
<p>青年期の人格発達をE.H.Eriksonのアイデンティティ理論を中心に学び、自己分析を含め、青年期の生涯発達における位置づけとその心理を理解する。その上で、青年たちへの進路指導の重要性を学び、具体的な進路指導の考え方を理解する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
特に定めない。講義中に参考図書を紹介する。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

講義内容 青年期の心理と進路指導について、以下の内容について1コマ1項目から2項目講義する。

- 1) エリクソンの漸成発達理論
- 2) アイデンティティとは何か
- 3) アイデンティティのバリエーション
- 4) 危機論
- 5) アイデンティティ・ステータス
- 6) 親密性
- 7) 生殖性
- 8) 漸成発達理論から見た進路指導の意味
- 9) 具体的な進路指導の考え方

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

日頃、新聞、webなどを通じて、教育、若者の現状について情報収集に努めること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義中の小レポートと、最終レポートの成績で評価する。

課題となるすべてのレポートの提出が必須である。

特に、講義で得た知識の他、それを実際に用いることによる自己分析の洞察力、表現力と、他者の心理に関する共感的理解の能力が評価の対象となる。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

まず、自分を知ること、そして、相手を知ることが学ぼう。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
なし